安全データシート

作成日　2007年　4月　4日
改訂日　2025年　1月　6日

1.製品及び会社情報

製品名:　　ＯＳプライマーＥＲ　主剤

会社名:　　オバナヤ･セメンテックス株式会社
住所:　　三重県いなべ市北勢町東村1339
電話番号:　　0594-72-6488
FAX 番号:　　0594-72-6253
担当部門:　　製造部　工場管理課
整理番号:　　M3202－1

2.危険有害性の要約

ＧＨＳ分類

物理化学的危険性

引火性液体：	区分３	

健康に対する有害性

皮膚腐食性／刺激性：	区分２	
眼に対する重篤な損傷性／刺激性：	区分２	
生殖細胞変異原性：	区分２	
発がん性：	区分１	
生殖毒性：	区分１	
特定標的臓器毒性(単回ばく露)：	区分３	（気道刺激性、麻酔作用）
誤えん有害性：	区分１	
特定標的臓器毒性(反復ばく露)：	区分１	（呼吸器、肝臓、精巣、中枢神経系、血液系）
水生環境有害性　短期(急性)：	区分１	
水生環境有害性　長期(慢性)：	区分１	

ＧＨＳラベル要素

注意喚起語:　危険

危険有害性情報: 引火性の液体および蒸気
皮膚刺激
強い眼刺激
遺伝性疾患のおそれの疑い
発がんのおそれ
生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
呼吸器への刺激のおそれ
眠気又はめまいのおそれ
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器(呼吸器、肝臓、精巣、中枢神経系、血液系)の障害
水生生物に非常に強い毒性
長期継続的影響により水生生物に非常に強い毒性
有機溶剤中毒を起こすおそれ

注意書き:　《安全対策》
医学的な助言が必要な時には、製品容器やラベルを持って行くこと。
子供の手の届かないところに置くこと。
使用前に取扱説明書を入手すること。
全ての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。

熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
容器を密閉しておくこと。
容器を接地しアースをすること。
防爆型の電気機器／換気装置／照明機器等を使用すること。
火花を発生させない工具を使用すること。
静電気放電に対する措置を講ずること。
屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面／保護マスク／聴覚保護具等を着用すること。

《応急措置》
吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
医師の診察／手当を受けること。
皮膚に付着した場合:直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。
眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
火災の場合:適切な消火剤(炭酸ガス、泡、粉末、乾燥砂、霧状強化液)を使用して、消火すること。
気分が悪い時は医師に連絡すること。

《保管》
容器を密閉して涼しく換気の良い場所で、施錠して保管すること。

《廃棄》
内容物／容器を国際／国／都道府県／市町村の規則に従って廃棄すること。
特別管理産業廃棄物に該当する。許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託する。

3.組成及び成分情報

単一製品・混合物の区分:混合物
成分及び濃度:

成分名	濃度(wt%)	CAS№.	PRTR 法		安衛法 通知物質
			管理番号	種別	
酸化チタン	10～20%	13463-67-7			該当
硫酸バリウム	1～10%	7727-43-7			該当
ミネラルスピリット	13%	—			
トリメチルベンゼン	8%	25551-13-7	691	第一種	該当
りん酸亜鉛	5%	7779-90-0	793	第二種	該当
キシレン	<1%	1330-20-7	80	第一種	該当
酸化ジルコニム	<1%	1314-23-4			該当
結晶質シリカ(石英)	<1%	14808-60-7			該当
クメン	<1%	98-82-8	83	第一種	該当
エチルベンゼン	<1%	100-41-4	53	第一種	該当

※ 濃度は原料組成情報より計算した代表値です。実際の濃度を保証するものではありません。

4.応急措置

吸入した場合:
蒸気、ガスなどを吸い込んで、気分が悪くなった場合には、空気が新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。
症状が改善しない場合は、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合:
付着物を布にて素早く拭き取ること。
大量の水及び中性石鹸を使ってよく洗い落とす。溶剤・シンナー等は使用しないこと。
外観に変化が見られたり、刺激・痛みがある場合、気分が悪い時には直ちに医師の診察／手当を受けること。

眼に入った場合:
水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。まぶたの裏まで完全に洗うこと。
直ちに医師に連絡すること。

飲み込んだ場合:
安静にして直ちに医師の診察を受けること。
交吐物は飲み込ませないこと。
医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。

5.火災時の措置

消火剤：	炭酸ガス、泡、粉末、乾燥砂、霧状強化液
使ってはならない消火剤：	棒状(高圧)水、棒状強化液
特有の消火方法:	指定の消火剤を使用すること。 安全に対処できるのであれば可燃性のものを周囲から素早く取り除くこと。 高温にさらされる密閉容器は水をかけて冷却すること。 消火活動は風上から行うこと。 周辺火災に対応して、消火活動を行うこと。
消火を行う者の保護:	消火作業の際は、適切な保護具(耐熱性着衣など)を着用すること。

6.漏出時の措置

人体に対する注意事項：	作業の際には適切な保護具(手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等)を着用する。 屋内では換気をしっかり行うこと。 屋外の場合は、できるだけ風上から作業を行なうこと。 周辺を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止すること。 可燃性であり、燃焼する危険性があるので火気には注意すること。 付近の着火源、高温体及び付近の可燃物を速く取り除くこと。 着火した場合に備えて、適切な消火器を準備すること。
環境に対する注意事項：	河川への流出などにより、環境への影響を起こさないように注意すること。
封じ込め及び浄化の方法・機材：	漏出物は密閉できる容器に回収し安全な場所に移すこと。 付着物、廃棄物などは関係法規に基づいて処置すること。 衝撃、静電気にて火花が発生しないような材質の用具を用いて回収すること。 乾燥砂、土、その他不燃性のものに吸収させて回収する。大量の漏出には盛土で囲って漏出を防止すること。

7.取扱い及び保管上の注意

取り扱い上の注意：	熱、高温のもの、火花、裸火および他の着火源から遠ざけること。禁煙。 容器を密閉しておくこと。 容器を接地しアースをとること。 防爆型の電気機器／換気装置／照明機器等を使用すること。 火花を発生させない工具を使用すること。 静電気放電に対する措置を講ずること。 使用済みウエス、塗料カス、スプレーダストや製品が付着した布、紙、ローラ―などが積み重なると自然発火するおそれがあるので、廃棄するまで水に漬けておくこと。 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。 密閉された場所における作業には、十分な局所排気装置を付け、適切な保護具を着けて作業すること。 保護手袋／保護衣・保護眼鏡／保護面／保護マスク／聴覚保護具等を着用すること。 粉じん／煙／ガス/ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。 取扱い後は手と顔をよく洗うこと。 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。 環境への放出を避けること。
保管上の注意：	密閉容器に保管すること。 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。 火気、熱源から遠ざけて保管すること。 盗難防止のため施錠保管すること。 子供の手の届かないところに保管すること。 漏れ、あふれ、飛散しないように必要な措置を講ずること。

8.ばく露防止及び保護措置

管理濃度･許容濃度：

管理物質	安衛法			米国産業衛生専門官会議	
	管理濃度	基準濃度値		ACGIH TLV 許容濃度値	skin
		8 時間	短時間		
酸化チタン				10 mg/m^3	
硫酸バリウム				5 mg/m^3	
ミネラルスピリット					
トリメチルベンゼン				25ppm	
りん酸亜鉛					
キシレン	50ppm			100ppm	
酸化ジルコニム				5 mg/m^3	
結晶質シリカ(石英)				0.025 mg/m^3	
クメン		10ppm	ー	50ppm･246 mg/m^3	
エチルベンゼン	20ppm			20ppm	

設備対策： 防爆型の電気機器／換気装置／照明機器等を使用すること。
排気装置を付けて蒸気が滞留しないようにすること。
輸送、汲み取り、攪拌等の装置はアースする。
取扱い場所の近くには、高温、発火源となるものが置かれないようにする。
屋内塗装作業の場合は、自動塗装機、局所排気装置等により作業者のばく露が避けられる設備にすること。
タンク内部等の密閉場所で作業をする場合には、密閉場所全体を十分に換気できる装置を取り付けること。
粉じんが積もらないような設備とすること。

呼吸器の保護具： 有機ガス用防毒マスクを着用すること。密閉された場所では送気マスクを着用すること。

手の保護具： 有機溶剤または化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用すること。

眼の保護具： 取扱いには保護眼鏡を着用すること。

皮膚及び身体の保護具： 皮膚を直接曝させないような衣類を着けること。また化学薬品が浸透しない材質であることが望ましい。

その他： 静電塗装を行う場合は帯電防止服、通電靴を着用すること。

9.物理的及び化学的性質

物理状態: 液体
色: 白色
臭い: 溶剤臭
沸点又は初留点及び
沸騰範囲: 165－176℃
可燃性: 可燃
爆発限界： データなし
引火点： 41℃
自然発火点： データなし
分解温度： データなし
ｐＨ： データなし
動粘性率： データなし
水に対する溶解度： 不溶
蒸気圧： 276Ｐａ (℃)
密度: 1.5g/cm^3 (23℃)
相対ガス密度: データなし
粒子特性: データなし
その他： データなし

10.安定性及び反応性

化学的安定性：	通常の取扱いでは安定。
反応性：	データなし
危険有害反応可能性	データなし
避けるべき条件：	高温
接触危険物質：	酸化剤
危険有害な分解生成物：	データなし
その他の有害性情報：	樹脂成分は空気中で酸化し、発熱、蓄熱される条件があると自然発火するおそれがある。

11.有害性情報

急性毒性　経皮：

キシレン	区分4

急性毒性　吸入：

キシレン	区分４(蒸気)
クメン	区分４(蒸気)
エチルベンゼン	区分４(蒸気)

皮膚腐食性／刺激性：

ミネラルスピリット	区分２
トリメチルベンゼン	区分２
キシレン	区分２

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性：

トリメチルベンゼン	区分２Ｂ
キシレン	区分２
クメン	区分２Ｂ
エチルベンゼン	区分２Ｂ

皮膚感作性：

酸化ジルコニム	区分１

生殖細胞変異原性：

結晶質シリカ(石英)	区分２

発がん性：

酸化チタン	区分２
結晶質シリカ(石英)	区分１Ａ
クメン	区分１Ｂ
エチルベンゼン	区分２

生殖毒性：

リン酸亜鉛	区分２
キシレン	区分１Ｂ
エチルベンゼン	区分１Ｂ

特定標的臓器毒性(単回ばく露)：

ミネラルスピリット	区分３(麻酔作用、気道刺激性)
トリメチルベンゼン	区分３(気道刺激性、麻酔作用)
キシレン	区分１(中枢神経系、呼吸器、肝臓、腎臓)、区分３(麻酔作用)
クメン	区分１(神経系)、区分３(麻酔作用、気道刺激性)
エチルベンゼン	区分３(気道刺激性、麻酔作用)

特定標的臓器毒性(反復ばく露)：

酸化チタン	区分１(呼吸器)
硫酸バリウム	区分１(呼吸器)
ミネラルスピリット	区分２(肝臓、精巣)
トリメチルベンゼン	区分１(中枢神経系、呼吸器)
リン酸亜鉛	区分１(血液系)
キシレン	区分１(神経系、呼吸器)
結晶質シリカ(石英)	区分１(呼吸器、免疫系、腎臓)
クメン	区分２(呼吸器)

エチルベンゼン　区分１(聴覚器、神経系)

誤えん有害性：

ミネラルスピリット	区分１
トリメチルベンゼン	区分１
キシレン	区分１
クメン	区分１
エチルベンゼン	区分１

12.環境影響情報

水生環境有害性以外の生態毒性：　データなし

残留性・分解性：　データなし

生体蓄積性：　データなし

土壌中の移動性：　データなし

	水生環境有害性		オゾン層への有害性
	短期(急性)	長期(慢性)	
酸化チタン	区分に該当しない	区分４	分類できない
硫酸バリウム	区分３	区分３	分類できない
ミネラルスピリット	区分１	区分１	ー
トリメチルベンゼン	区分２	区分２	
りん酸亜鉛	区分１	区分１	分類できない
キシレン	区分２	区分２	分類できない
酸化ジルコニム	分類できない	分類できない	分類できない
結晶質シリカ(石英)	区分に該当しない	分類できない	分類できない
クメン	区分２	区分２	分類できない
エチルベンゼン	区分１	区分２	分類できない

漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与えるおそれがあるので、取扱いに注意する。

特に、製品や洗浄水が、地面や川、排水溝に直接流れないように対処すること。

13.廃棄上の注意

内容物／容器を国際／国／都道府県／市町村の規則に従って廃棄すること。

廃塗料、廃溶剤、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約して処理をすること。

特別管理産業廃棄物に該当する。許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託する。

容器、機器装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝にそのまま流さないこと。

固化した塗料、焼却物、排水も関係する法規にしたがって処理を行なうか、委託すること。

環境に配慮し、空容器、包装等はリサイクルを推奨すること。

14.輸送上の注意

注意事項：　輸送に際しては、容器の破損、腐食、漏れのないことを確認する。転倒、落下、損傷のないように積込み、荷崩れ防止を確実に行い、該当法規に従い、包装、表示、輸送を行う。

国連番号：　1263

品目名：　塗料又は塗料関連物質(ベイインド薄め液又は補修剤)

国連分類：　3

容器等級：　Ⅲ

国内規制がある場合の規制情報

緊急時応急措置指針番号：128

陸上輸送：　消防法、安衛法、毒劇法に該当する場合は、それぞれの法律に定められる運送方法に従うこと。

海上輸送：　船舶安全法、海洋汚染防止法の定めるところに従うこと。

航空輸送：　航空法の定められるところに従うこと。

15.適用法令

消防法：	危険物第4類第2石油類
労働安全衛生法：	
名称等を通知すべき危険物及び有害物:	3. 組成及び成分情報に記載
有機溶剤中毒予防規則：	第3種有機溶剤等
特定化学物質障害予防規則：	該当しない
がん原性物質：	結晶質シリカ
皮膚等障害化学物質及び特別規則に基づく	
不浸透性の保護具等の使用義務物質：	キシレン
毒物及び劇物取締法：	該当しない
化学物質管理促進法(PRTR 法):	3. 組成及び成分情報に記載

16.その他の情報

本データシートは作成時又は改訂時において、製品及びその組成に関する最新の情報(危険有害性情報・取扱い情報)を集めて作成しておりますが、全ての情報を網羅したものではなく、新たな情報を入手した場合には追加・修正を行ない改訂いたします。
また、本データシートに記載のデータは、その製品を代表する値であり、保証値ではありません。本製品を当社が認めた材料以外のものとの混合、当社が認めた仕様以外の特殊な条件で使用する場合には、使用者において安全性の確認を行なってください。

安全データシート

作成日 2007年 4月 4日
改訂日 2025年 1月 6日

1. 製品及び会社情報

製品名： ＯＳプライマーＥＲ 硬化剤

会社名： オバナヤ･セメンテックス株式会社
住所： 三重県いなべ市北勢町東村1339
電話番号： 0594-72-6488
ＦＡＸ番号： 0594-72-6253
担当部門： 製造部 工場管理課
整理番号： M3202－2

2. 危険有害性の要約

ＧＨＳ分類

物理化学的危険性

引火性液体：	区分３

健康に対する有害性

急性毒性 吸入：	区分４
皮膚腐食性／刺激性：	区分２
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性：	区分２
皮膚感作性：	区分１
発がん性：	区分２
生殖毒性：	区分１
特定標的臓器毒性(単回ばく露)：	区分３（気道刺激性、麻酔作用）
特定標的臓器毒性(反復ばく露)：	区分１（中枢神経系、呼吸器、肝臓、精巣）
誤えん有害性：	区分１
水生環境有害性 短期(急性)：	区分１
水生環境有害性 長期(慢性)：	区分１

ＧＨＳラベル要素

注意喚起語： 危険

危険有害性情報 引火性の液体及び蒸気
吸入すると有害
皮膚刺激
強い眼刺激
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
発がんのおそれの疑い
生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
呼吸器への刺激のおそれ、
眠気又はめまいのおそれ
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器（中枢神経系、呼吸器、肝臓、精巣）の障害
水生生物に非常に強い毒性
長期継続的影響により水生生物に非常に強い毒性
有機溶剤中毒を起こすおそれ

注意書き： 《安全対策》
医学的な助言が必要な時には、製品容器やラベルを持っていくこと。
子供の手の届かないところに置くこと。
使用前に取扱説明書を入手すること。

全ての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
容器を密閉しておくこと。
容器を接地しアースをとること。
防爆型の電気機器／換気装置／照明機器等を使用すること。
火花を発生させない工具を使用すること。
静電気放電に対する措置を講ずること。
屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面／保護マスク／聴覚保護具等を着用すること。

《応急措置》

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
医師の診察／手当を受けること。
皮膚に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水又はシャワーで洗うこと。
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
火災の場合：適切な消火剤(炭酸ガス、泡、粉末、乾燥砂、霧状強化液)を使用して消火すること。
気分が悪いときは医師に連絡すること。

《保管》

容器を密閉して涼しく換気の良い場所で、施錠して保管すること。

《廃棄》

内容物／容器を国際／国／都道府県／市町村の規則に従って廃棄すること。
特別管理産業廃棄物に該当する。許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託する。

3.組成及び成分情報

単一製品・混合物の区分：混合物
成分及び含有量：

成分名	濃度(wt%)	CAS№.	PRTR法		安衛法通知物質
			管理番号	種別	
トリメチルベンゼン	39%	25551-13-7	691	第一種	該当
ミネラルスピリット	11%				該当
クメン	＜1%	98-82-8	83	第一種	該当
トリエチレンテトラミン	＜1%	112-24-3	278	第二種	該当
キシレン	＜1%	1330-20-7	80	第一種	該当

※ 濃度は原料組成情報より計算した代表値です。実際の濃度を保証するものではありません。

4.応急措置

吸入した場合：　蒸気、ガスなどを吸い込んで、気分が悪くなった場合には、空気が新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。
症状が改善しない場合は、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合：　付着物を布にて素早く拭き取ること。
大量の水又はシャワー及び石鹸又は皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とす。
溶剤・シンナーは使用しないこと。
外観に変化が見られたり、刺激・痛みがある場合、気分が悪い時には直ちに医師の診察／手当を受けること。

眼に入った場合：　水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。まぶたのまで完全に洗うこと。
直ちに医師に連絡すること。

飲み込んだ場合：　安静にして直ちに医師の診察を受けること。
嘔吐物は飲み込ませないこと。
医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。

５. 火災時の措置

適切な消火剤：	炭酸ガス、泡、粉末、乾燥砂、霧状強化液
使ってはならない消火剤：	棒状(高圧)水、棒状強化液
特有の消火方法：	安全に対処できるのであれば可燃性の物を周囲から素早く取り除くこと。 指定の消火剤を使用すること。 高温にさらされる密閉容器は水をかけて冷却すること。 消火活動は風上から行うこと。 周辺火災に対応して、消火活動を行うこと。
消火を行う者の保護：	消火作業の際は、適切な保護具(耐熱性着衣など)を着用すること。

６. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、 保護具及び緊急時措置：	作業の際には適切な保護具(手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等)を着用すること。 屋内では換気をしっかり行うこと。 屋外の場合は、できるだけ風上から作業を行うこと。 周辺を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止すること。 可燃性であり、燃焼する危険性があるので火気には注意すること。 付近の着火源、高温体及び付近の可燃物を素早く取り除くこと。 着火した場合に備えて、適切な消火器を準備すること。
環境に対する注意事項：	河川への排出などにより、環境への影響を起こさないように注意すること。
封じ込め及び浄化の 方法及び機材：	漏出物は密閉できる容器に回収し安全な場所に移すこと。 付着物、廃棄物などは関係法規に基づいて処置すること。 衝撃、静電気にて火花が発生しないような材質の用具を用いて回収すること。 乾燥砂、土、その他不燃性のものに吸収させて回収する。 大量の漏出には盛土で囲って漏出を防止すること。

７. 取扱い及び保管上の注意

取扱い上の注意:	熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。 容器を密閉しておくこと。 容器を接地しアースをとること。 防爆型の電気機器／換気装置／照明機器等を使用すること。 火花を発生させない工具を使用すること。 静電気放電に対する措置を講ずること。 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。 密閉された場所における作業には、十分な局所排気装置を付け、適切な保護具を着て作業すること。 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面／保護マスク／聴覚保護具等を着用すること。 過去に、アレルギー症状を発症している人は取扱わないこと。 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。 取扱い後は手と顔をよく洗うこと。 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 環境への放出を避けること。
保管上の注意：	密閉容器に保管すること。 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。 火気、熱源から遠ざけて保管すること。 盗難防止のために施錠保管すること。 子供の手の届かないところに保管すること。 漏れ、あふれ、飛散しないように必要な措置を講ずること。

8.ばく露防止及び保護措置

管理濃度･許容濃度：

管理物質	安衛法			米国産業衛生専門官会議	
	管理濃度	基準濃度値		ACGIH TLV 許容濃度値	skin
		8時間	短時間		
トリメチルベンゼン				25ppm	
ミネラルスピリット					
クメン		10ppm	－	50ppm・246mg/m^3	
トリエチレンテトラミン					
キシレン	50ppm			100ppm	

設備対策：
防爆型の電気機器／換気装置／照明機器等を使用すること。
排気装置を付けて蒸気が滞留しないようにすること。
輸送、汲み取り、撹拌等の装置はアースする。
取扱い場所の近くには、高温、発火源となるものが置かれないようにする。
屋内塗装作業の場合は、自動塗装機、局所排気装置等により作業者のばく露が避けられる設備にすること。
タンク内部等の密閉場所で作業をする場合には、密閉場所全体を十分に換気できる装置を取り付けること。
粉塵が積もらないような設備すること。

呼吸器の保護具：
有機ガス用防毒マスクを着用すること。
密閉された場所では送気マスクを着用すること。

手の保護具：
有機溶剤又は化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用すること。

眼の保護具：
取扱いには保護眼鏡を着用すること。

皮膚及び身体の保護具：
皮膚を直接曝させないような衣類を着けること。また化学薬品が浸透しない材質であることが望ましい。

その他：
静電塗装を行う場合は帯電防止服、通電靴を着用すること。

9.物理的及び化学的性質

物理状態：液体
色：淡黄色透明
臭い：溶剤臭
沸点：165-176℃
可燃性：可燃
爆発限界：データなし
引火点：56℃
自然発火点：データなし
分解温度：データなし
ｐＨ：データなし
動粘性率：データなし
水に対する溶解度：不溶
蒸気圧：244Pa(℃)
密度：0.9g/cm^3(23℃)
相対ガス密度：データなし
粒子特性：データなし

１０.安定性及び反応性

化学的安定性：通常の取扱いでは安定。
反応性：データなし
危険有害反応可能性：データなし
避けるべき条件：高温
混触危険物質：酸化剤、イソシアネート類
危険有害な分解生成物：データなし

１１. 有害性情報

急性毒性　経皮：
- トリエチレンテトラミン　区分３
- キシレン　区分４

急性毒性　吸入：
- クメン　区分４(蒸気)
- キシレン　区分４(蒸気)

皮膚腐食性／刺激性：
- トリメチルベンゼン　区分２
- ミネラルスピリット　区分２
- トリエチレンテトラミン　区分１
- キシレン　区分２

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性：
- トリメチルベンゼン　区分２Ｂ
- ミネラルスピリット　区分２Ｂ
- トリエチレンテトラミン　区分１
- キシレン　区分２

皮膚感作性：
- トリエチレンテトラミン　区分１

発がん性：
- クメン　区分１Ｂ

生殖毒性：
- キシレン　区分１Ｂ

特定標的臓器毒性(単回ばく露)：
- トリメチルベンゼン　区分３(気道刺激性、麻酔作用)
- ミネラルスピリット　区分３(気道刺激性、麻酔作用)
- クメン　区分１(神経系)、区分３(気道刺激性、麻酔作用)
- トリエチレンテトラミン　区分３(気道刺激性)
- キシレン　区分１(中枢神経系、呼吸器、肝臓、腎臓)、区分３(麻酔作用)

特定標的臓器毒性(反復ばく露)：
- トリメチルベンゼン　区分１(中枢神経系、呼吸器)
- ミネラルスピリット　区分２(肝臓、精巣)
- クメン　区分２(呼吸器)
- キシレン　区分１(神経系、呼吸器)

誤えん有害性：
- トリメチルベンゼン　区分１
- ミネラルスピリット　区分１
- クメン　区分１
- キシレン　区分１

１２. 環境影響情報

水生環境有害性以外の生態毒性：　データなし

残留性・分解性：　データなし

生体蓄積性：　データなし

土壌中の移動性：　データなし

	水生環境有害性		オゾン層への有害性
	短期(急性)	長期(慢性)	
トリメチルベンゼン	区分２	区分２	
ミネラルスピリット	区分１	区分１	—
クメン	区分２	区分２	分類できない
トリエチレンテトラミン	区分３	区分２	分類できない
キシレン	区分２	区分２	分類できない

・漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与えるおそれがあるので、取扱いに注意する。
特に、製品や洗浄水が地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

１３. 廃棄上の注意

残余廃棄物: 内容物／容器を国際／国／都道府県／市町村の規則に従って廃棄すること。
廃塗料、廃溶剤、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約して処理をすること。
特別管理産業廃棄物に該当する。許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託する。
容器、機器装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝にそのまま流さないこと。
固化した塗料、焼却物、排水も関係する法規にしたがって処理を行うか、委託すること。
環境に配慮し、空容器、包装等はリサイクルを推奨すること。

１４. 輸送上の注意

注意事項： 輸送に際しては、容器の破損、腐食、漏れのないことを確認する。転倒、落下、
損傷のないように積込み、荷崩れ防止を確実に行い、該当法規に従い、包装、表示、輸送を行う。
国連番号： 1263
品目名： 塗料又は塗料関連物質(ベインド薄め液又は補修剤)
国連分類： 3
副次危険性： ―
容器等級： Ⅲ
国内規制がある場合の規制情報
指針番号： 128
陸上輸送： 消防法、安衛法、毒劇法に該当する場合は、それぞれの法律に定められる運送方法に従うこと。
海上輸送： 船舶安全法、海洋汚染防止法の定めるところに従うこと。
航空輸送： 航空法の定めるところに従うこと。

１５. 適用法令

消防法： 第４類　第２石油類(非水溶性)
労働安全衛生法
名称等を通知すべき危険物及び有害物： ３．組成及び成分情報に記載
有機溶剤中毒予防規則： 第３種有機溶剤等
特定化学物質障害予防規則： 該当しない
がん原性物質： 該当しない
皮膚等障害化学物質及び特別規則に基づく
不浸透性の保護具等の使用義務物質： 該当しない
毒物及び劇物取締法： 該当しな
化学物質管理促進(PRTR)法 ３．組成及び成分情報に記載

１６. その他の情報

本データシートは作成時又は改訂時において、製品及びその組成に関する最新の情報（危険有害性情報・取扱い情報）を集めて作成しておりますが、全ての情報を網羅したものではなく、新たな情報を入手した場合には追加・修正を行ない改訂いたします。
また、本データシートに記載のデータは、その製品を代表する値であり、保証値ではありません。本製品を当社が認めた材料以外のものとの混合、当社が認めた仕様以外の特殊な条件で使用する場合には、使用者において安全性の確認を行なってください。